

審議会等名	第4回 つくばみらい市介護保険事業計画等策定委員会 会議録	
開催日	令和5年11月2日(木) 午後2時30分～午後3時30分	
開催場所	つくばみらい市役所伊奈庁舎3階大会議室	
出席者	【出席者】	浅川育世会長、坂入教男副会長、沼尻和博委員、菊地広志委員、野村俊光委員、古舘千恵子委員、東野幸代委員、宮本瞳委員、豊島美智子委員、松本稔恵委員、飯田昌吾委員、浅川昭一委員
	【欠席者】	小松崎八寿子委員、渡邊千明委員
	【事務局】 介護福祉課	草間保健福祉部長、八木課長、野澤課長補佐、原田係長、山平主事
	【コンサルタント】	Next-i株式会社さいたま支店 山口リーダー
傍聴者	0人	
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項 (1) 高齢福祉計画・第9期介護保険事業計画(案)について ・施策の展開 ・介護保険事業に関する見込み量及び総費用の推計 4 その他 (1) パブリック・コメントについて (2) 今後のスケジュールについて 5 閉会	
会議資料	当日配布 ・会議次第 ・介護保険事業計画等策定委員名簿 ・介護保険事業計画等策定委員席次表 ・介護保険事業計画等策定委員会要綱	

	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画骨子（案）検討表 ・高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画【第4章】 ・高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画【第5章】 ・パブリック・コメント及び住民説明会について ・高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画（案） ・高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画（案）概要版
議 案	<p>1. 高齢福祉計画・第9期介護保険事業計画（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の展開 ・介護保険事業に関する見込み量及び総費用の推計 <p>2. その他</p>
議案概要	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 午後2時00分 ・会長あいさつ 浅川会長 ・議案1について 高齢福祉計画・第9期介護保険事業計画（案）について、事務局より説明。 <p><質疑応答></p> <p>浅川委員長：P74 第4章 認知症施策の総合的な推進 エ. 認知症予防の推進「住民主体の地域の運動教室の支援」は、事業の位置としてここに位置付けるのであれば、単なる介護予防ではなく認知症に対応した・・・などの文言が必要だと思う。</p> <p>事務局：認知症予防の推進にあたるので、文言について追記する。</p> <p>浅川委員長：P65 (2) 地域交流ができる多様な居場所づくりの推進の文面で「主体に」となっているので「主体的に」へ表現の修正をお願いしたい。 P93① 介護サービスの提供体制の確保の中で「国の「電子申請・届出システム」活用し」は、「国の「電子申請・届出システム」を活用し・・・」と、「を」を追加していただきたい。</p>

	<p>事務局：修正する。</p> <p>宮本委員：P77「各企業との見守り協定に関する取り組み」の中で「並びに安全な道路環境を確保していきます。」と表記があるが、どのような意味か。</p> <p>事務局：担当課に確認の上、表現を変更したい。</p> <p>菊地委員：第5章 介護保険事業に関する総費用の推計と介護保険料の設定の中で、訪問介護、訪問看護などの令和5年度の利用者が減っているが令和6年度以降増える推計になっている。令和5年度の実績はどのような数字か。</p> <p>事務局：令和3、4年度は介護保険事業状況報告のデータになる。令和5年度は介護保険事業状況報告月報の実績を12か月換算しているため、数字が極端に伸びたり、減ったりしているものもある。あくまで見込み値になるため、令和3、4年度の伸びに、5年度の状況を踏まえて令和6年度以降を推計している。将来推計は、実績が積み重なるとより精度のある推計ができるので、次回以降も新たな数値でのお示しになる。</p> <p>沼尻委員：第4章の(4)ボランティア活動の支援と参加促進に向けた取組 P70 のボランティアセンターはどのような活動をしているのか教えていただきたい。つくばみらい市では介護福祉課をはじめ、社協などを中心にボランティア活動が活発な印象だが、現状では高齢化などの問題があるので、ボランティアセンターは具体的にどのような活動しているのか。</p> <p>古舘委員：ボランティアセンターは、高齢者などのボランティアが集まれる場所づくりをしている。ボランティアの課題としては、担い手がない。大学生や高校生などと</p>
--	---

連携をして行事をやっていこうと考えている。

浅川委員：ボランティアのおかげで社会福祉協議会が順調に運営できている。担い手の問題だが、定年延長の影響がある。以前は60歳で定年を迎えた方が地域に来て、ボランティアとして活躍されていたが、70歳からボランティアは難しいと感じる。ボランティアの中で移送サービスがある一方で、高齢者の場合は免許返納を勧められてしまう。そういったことで人材不足になっている原因になっている。

沼尻委員：ボランティアの中でも、介護支援ポイントや訪問A、有償ヘルパーなどがあり、縦割りのイメージがある。シルバー人材センターで働いていた人が辞めたときに、活動量がほどよい介護支援ポイントなどを勧めるなど横のつながりがあるとよい。

古舘委員：我々は完全に無償ボランティアで活動して、一日の拘束時間も長い。一方でP70の介護支援ポイントは、ポイント制で有償になっている。我々の活動は自費で活動しているが、収益はない。そういった面も考慮していただけたらと思う。

浅川委員長：今の時代、無償での活動は難しいのでインセンティブがつく方がよい。

坂入委員：P115の特別養護老人ホームの見込みについて第9期期間中は施設整備をしないということだが、令和12、22年の見込みでは大きく伸びている。この辺の根拠としては高齢者人口の伸びだと思うが、施設整備は検討していくのか。

事務局：今後の高齢者数の伸びやサービスの利用状況を含めて、数値を見込んでいる。令和12、22年度については改めて、新たな計画策定時に施設整備について検討していく。

野村委員：アンケートを見ると認知症リスクの方が5割程度いた
ので、教室などにつなげることが必要。民生委員とし
て関わる事業で、P91「救急医療情報キット」を一人暮
らし高齢者へ勧めてきたが、不足してしまった。

事務局：「救急医療情報キット」は数年前に購入し民生委員の協
力のもと必要な方に配布した。在庫も減ってきている
ので、来年度以降内容や情報伝達の方法などを含め、
関係機関とともに検討している。現段階、事務局で用
意があるので必要な方がいればお渡しは可能である。

古舘委員：認知症サポーターの講習を受けてオレンジのリングを
もらう。リングは常に付けられないので、誰が見ても
わかるものや使い勝手なども検討していただけたら
と思う。

事務局：リングは、国からの提供となる。参考にさせていただく。

浅川委員：保険料基準額は第8期計画よりあがるのか。

事務局：現段階の推計では第8期と同様の水準になると考えてい
る。ただP123の表にある保険料の段階が、国の標準9段
階が13段階に変更する予定であったり、介護報酬改定
などの影響により変動がある。

飯田委員：市に青パトを借りて月に1回、安全パトロールを実施
している。安全パトロールを活用して一人暮らし高齢
者や認知症の方の見守りができればよい。PTAや防犯
協会などと協力して連絡協議会などを設けたらよい
なと感じた。

松本委員：ボランティアセンターは谷和原の保健福祉センターに
ある。事務局裏にボランティアが集まれる場所があ

る。会に所属している団体が約 60 団体ある。他の団体も含めると 100 団体ぐらいある。ただ、ボランティアメンバーが集まって使える場所がない。活動しやすい環境があるとよい。つくばみらい市の社協がとても頑張っていると聞く。

豊島委員：高年クラブで活動している。活動している人は平均年齢 78 歳、若い人は 65 歳、上は 90 歳代までいる。市内でも 500 人程度いる。行事を開催するとき、認知症の方もお誘いしているが、出席を忘れてしまったりする。行事なら問題ないが、旅行などは大変になる。認知症の見守りについてどこまでかかわっていいのか難しい問題。

東野委員：ケアマネジャーという立場からになるが、担当している方で認知症の SOS ネットワークを利用している方がいる。家族の声として家族はシールを知っているが、市民の方の認知度が低い。シールなどの周知が必要。また、災害時要援護者名簿があることを最近知った。もっとアピールしていただけたらと思う。

事務局：QR コードの周知も今後検討していく。要支援者名簿についても担当課に周知を依頼する。

浅川委員長：P122②保険料収納必要額の合計が合わない。

事務局：保険者負担相当額と調整相当額を足して、調整交付見込額を引いた金額になる。見せ方について表記を検討したい。

・その他について

パブリック・コメントの実施について、事務局より説明。

今後のスケジュール等について、事務局より説明。

・閉会 午後 3 時 3 0 分